

大連森茂大廈文化交流会「クリスマス茶会」の開催

在瀋陽日本国総領事館
在大連領事事務所

12月25日、大連森茂ビル1階エントランスにて、大連森茂ビルで働く中国人スタッフを対象とした「クリスマス茶会」を開催しました。



今般の「クリスマス茶会」は大連森茂大廈有限公司主催、当事務所共催で行う「大連森茂大廈文化交流会」の一環として開催されました。

大連森茂大廈有限公司の内田經理は冒頭の挨拶にて、「日本の伝統文化である茶道を体験し、これを機に日本文化への更なる関心を持って頂ければ嬉しい」と述べ、参加者を歓迎しました。



今回の茶会では、茶道裏千家淡交会大連同好会及び大連外国語大学茶道クラブの皆様による茶道紹介、デモンストレーションが行われました。



同会講師である山崎先生は冒頭の挨拶にて、中国から日本へと伝わってきたお茶の文化が日本で茶道として大成したことを紹介し、茶道が日中両国を繋ぐ文化であることを強調しました。また、茶道は日本の伝統文化であるものの、クリスマスといった季節感のある海外の文化や行事も積極的に取り入れていることを紹介しました。



山崎講師はデモンストレーションの進行に合わせて、一つ一つの所作に込められた意味を解説しました。参加者はカメラを片手にその解説に聞き入り、茶道の精神及びその文化に対する理解を深めました。

デモンストレーション終了後、参加者全員にクリスマスをイメージした茶菓子と抹茶が振る舞われました。今回初めて抹茶を口にするという参加者も多く、同好会及び茶道クラブの指導の下、茶道の文化を直に体験しました。



今回の「クリスマス茶会」では、同ビルで働く多くの中国人スタッフに対し日本の伝統文化を紹介することができました。かつてお茶という文化が中国と日本を繋げたように、文化交流活動をとおして両国民の心が繋がった良い一日となりました。